



進学 大阪大学

経済学部

中村裕菜先輩

出身 桐蔭高校 普通科

クラブ 吹奏楽部

AC(赤井) 合格おめでとうございます。

中村 ありがとうございます。

志望校を決めた時期・きっかけは？

中村 大阪大学に行きたいと思い始めたのは高2。でも学部をなかなか決められなくて。外国語学部や文学部など、迷った時期もあったけど経済学部に決めたのは高3の夏ぐらいです。阪大のパンフレットを見て、単純に面白そうだな、と。経済学部は卒論が義務じゃないみたいで。就活とかそういう将来を考えた時に、卒論が必須じゃなければ選択肢も色々広がるのかな、とも思いました。あとは、入試科目や配点。二次試験で得意科目の数学を使いたかったし、共テと二次の配点を3パターンから選ぶことができるので、チャンスが多い形式なんだな、と思って。

AC(赤井) 大学別の模試の判定はどうだった？

中村 D判定だったかな。判定は全然良くなかったです。良くてC。高2の時はずっとE(笑)。1回だけ共テ模試でB判定の時があったけど。Aなんか取ったことがなかったです。大学別の模試でも共テ模試でも。

AC(赤井) 過去問を解いた感じはどうだった？

中村 できる問題とできない問題の差がめっちゃ大きかったです。でもできない問題はみんなできやんやろって(笑)。意外と基礎的なところが大事だなって感じました。国語は文章自体の難易度よりも、記述問題がほとんどで、長かったら200字ぐらいの記述が求められる問題もあるので、時間が足りないと感じました。英語は難しい。問題の種類も、和訳・英訳・長文・自由英作って、もうてんこ盛りで、色んな力が求められる試験で。学校とか塾でそういう対策をずっとしてきたことが活かされると思いました。

AC(赤井) 阪大の二次の感触は？

中村 できた、とは全然思わなかったです。大きなミスをしたりとかはなかったんですけど、やっぱり雰囲気がものすごくしんどした空気で。みんな緊張してるし、ドキドキだし、手も震えたり、もう何を書いても「合ってんのかな」って不安しかなかったです。やりきったとは思いましたけど、できたっていう感触はあまりなかったですね。

AC(赤井) 結果がわかるまでは。

中村 後期は、二次試験がなく、共テの点数だけを見られる大阪公立大に出願していましたので、とりあえず終わったという解放感と(笑)。もうそわそわしているのが嫌だったので出かけたりもしたんですけど、ずっと頭の片隅にはありましたね。

二次試験の前に私立大の同志社と関西学院に見事合格。何か特別な対策をしていた？

中村 対策は直前に何年か分の過去問を解いて、時間配分の練習をしました。同志社大の数学がめっちゃ難しかったんですよ！大阪大学よりも難しくて。試験会場には知り合いも全然いなかっただし、周りがどれだけできてるかもわからなかっただし。めっちゃ不安でした。関学は2日間受験しましたが、これも1日目の数学がすごく難しくて。焦りましたが、切り替えて2日目に臨みました。英語と国語は過去問と同じぐらいの難易度だったと思います。私立は、私にとっては数学との戦いでしたね。

受験勉強をし始めたタイミングはいつごろ？

中村 赤井先生と面談をした高3の初めかな。1回、阪大の過去問を解いてみるよう言われたけど…正直、夏までは忙しくて(笑)。初めてちゃんと過去問に取り組んだのは引退後の8月でしたね(笑)。サテラインの授業は日本史・英語・数学を。[ACサテライン講座・共通テスト日本史：土屋先生、Super English(読解・英作・文法・単語)：西谷先生、数学的思考の鍛錬(数学ⅠAⅡB編)：貴先生]国語は長沼先生の授業を受けていました。[ACクラスライブ-共通テスト攻略国語：長

沼先生]国語は、なかなか思うように点数が取れず、長沼先生に何回も相談に行きました。国語は一気に上がらないので、苦労しましたね。

AC(赤井) 練習がハードな吹奏楽部。部活との両立で工夫したことは?

中村 部活の時は勉強のこととか考えずに、部活に集中してました。家に帰ると疲れてすぐ寝てしまう日もあったんですけど…勉強の時は勉強に集中するように心がけてました。休憩も適宜取って(笑)。

AC(赤井) メリハリをつけてやってたんだね。モチベーションはどうやって維持していたの?

中村 合格して楽しい大学生活を送る自分を想像してやってましたね(笑)。合格発表の瞬間に喜んでいる自分とか。周りの友達もみんな本当に勉強頑張る子たちで。それを見ると自分も頑張らな!っていう気持ちに、自然となれた気がします。

アカデミーキャンパスに来てもらったきっかけは?

中村 GES県立中学受験クラスに小学校4年生の時から来ています、桐蔭中の時も専門クラスにて、GESで仲良くなったり友達もみんなで一緒にACに、という感じですね(笑)。8年間?長いですね!(笑)

AC(赤井) 印象に残っている先生は?

中村 どの先生も素晴らしいと思うんですけど、うーん、特に好きだった先生は長沼先生ですね。国語の解き方って全然わからなかったんですけど、文章の読み方・考え方を1から教えてもらえた。古文も受験に必要な知識を全部教えてもらいました。先生もすごく面白い方で、たまにしてくれる雑談もめちゃくちゃ面白くて。飽きることなく、毎回楽しみながら授業を受けてました。模試や学校で解く演習問題では5-6割ぐらいで留まってた時期もあったけど、最終的に苦手な国語で150点も取ることができて本当にありがたかったです。

AC(赤井) サテラインの授業はどうでしたか?

中村 土屋先生は共に必要な知識を効率よく教えてくれて。サクナビ*[サクナビクス…土屋先生の授業内で使用するプリント]に書き込みながら授業を受けるんですけど、土屋先生もこういう理由があってこうなった、ということを説明してくれたので、納得して覚えることができました。YouTubeの音声教材とサクナビを何回も

何回も見て勉強してました。それは定期テストの時も使えました。

貴先生のテキストはめっちゃ使いました。阪大の難しい問題に全然太刀打ちできなかつたので、まずは貴先生の2学期のテキストにある、入試頻出で難易度高めの問題を全範囲分解きました。共に対策には、1学期のテキストにある貴先生がピックアップした問題を。授業の解説もほんとにわかりやすくて。理解できないところはなかったですね。

AC(赤井) サテラインの授業も活用してやりこんだことが結果につながったんだね。英語はどうだった?

中村 西谷先生は授業がわかりやすいのはもちろんんですけど、毎回授業の最初に英語の名言を紹介してくれて。精神面でも興味深い話が多く、先生にモチベーションを上げてもらいました。絶対合格できる!みたいなことも言ってくれて。



大学生活で期待してはある?

中村 まずは色々な人との輪を広げたいですね。初めて県外に出ていろんな人と友達になれることが楽しみ。

インタビューを終えて

中村さんは、吹奏楽部と勉強と両立をさせ見事第一志望校に合格してくれました。定期考査では毎回どの教科もコンスタントに8割を超える高得点をとってくれていました。定期考査の期間だけ勉強するのではなく、毎日コツコツと予習・復習・睡眠をメリハリつけて頑張っ



AC(赤井) 卒業後は?

中村 具体的なものは全然ないんですけど、インターンとかにも積極的に参加したいし、大阪万博があるので、ボランティアとかで関わって国際交流、地域交流とか、経験したいな、と思っています。なかなかできることだと思うので、色々なことを学びたいなと思っています。

後輩へのアドバイスを。

中村 社会と理科はやっぱり早めに対策を始めた方がいい。自分も日本史が苦手だったので、高2の夏からサテラインを受け始めて。覚える量が多くて大変だったから。理科基礎は高3では学校の授業はほぼ復習、高1・高2でいっぱい覚えておけたら、勉強時間が省けて他の教科にまわせると思う。あとは、当たり前ですが、やっぱり定期テストの時はテスト勉強をちゃんとすることをおすすめします。自分は、部活を最後まで続けることができて、本当に良かったなと思っています。続けたっていう達成感が、勉強へのモチベーションとか、自信に繋がっていると思いました。勉強できないから、と言って部活を続けるかどうか迷う人も多いと思うんですけど…私は、部活をしている、していないに関わらず、勉強に集中できるかは“個人”だと思うので、やっぱり得られるものが大きい部活は続けてほしいと思います。部活を勉強できない理由にせずに頑張ったら、それが受験で生きることもある、と思います。

AC(赤井) ありがとうございました。また和歌山に帰ってきたときは顔を見せてくださいね。

 **Academy Campus**

ていたことが定期考査での高得点に繋がっていました。忙しく、引退時期の遅い吹奏楽部の活動を、彼女が言い訳にしたり、愚痴ったりすることは一度もなく、その様子から中村さんの意志の強さを感じていました。決して両立は簡単ではなかったと思います。しかし、対談の中で彼女も話しているように、勉強と両立させながら部活をやりきったことで、引退後、受験勉強もきっとやれるはずだと自信を持って挑む姿を、頼もしく見ていました。

大学では勉強だけでなく、いろんなことにも挑戦して知見・教養を広めて欲しいと思います。4年間本当に楽しめますね。これからも頑張ってください!

ACカウンセリングスタッフ 赤井 栄木